

ナイスケアだより

第103号

令和2年12月発行

最近、現金を持ち歩かずカードや携帯などで支払いをする『電子マネー』などの『キャッシュレス化』が、世界的にも進んでいます。日本政府も推奨していて、コンビニやスーパーなどの多くのお店で取り入れられています。

私自身はパソコンなどの電子機器の使用が苦手なのですが、今後のために『おサイフケータイ』を始めてみることにしました。買い物、公共料金、交通機関の支払いも一括にまとめました。実際に『電子マネー』を使ってみると、お財布を持たず買い物ができるうえポイントも溜まるので、便利だしお得な面もあります。しかし、設定に時間がかかったり使えるお店が限られるなど手間や不便な面もあり、個人個人で賛否は別れそうです。



イギリスでは、現金を使用しない社会の実現を目指していて、『キャッシュレス化』が日本より進んでいます。しかし、高齢者などインターネットの利用が苦手に対応できない人が置き去りにになっていることが大きな問題になっています。

日本でもキャッシュレス化が進んだ時に同じような問題が起こるかもしれません。誰もが簡単で安全に使用できるシステムや機能が開発されるよう、政府には留意してほしいと思います。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

～年越しそば～

早いもので、今年もあと少しで終わろうとしています。皆様は大晦日には『年越しそば』を召し上がりますか？

『年越しそば』の由来は鎌倉時代。当初はお寺で貧しい人達に振る舞われた『そば餅』というそば粉で作ったお餅だったようです。『そば餅』を食べた人達が翌年運気が上がり、それにあやかろうと食べられる様になりました。今ではお餅が蕎麦に変わり、蕎麦のように細く長く過ごせる事を願って食べられています。

蕎麦のトッピングにも、海老天には長寿を、油揚げには商売繁盛を願うという意味があるそうです。地域によっては鰻(にしん)をのせたり、うどん県の香川県ではお蕎麦の代わりにうどんを食べたりもするようです。

大晦日には、お好みのトッピングで『年越しそば』を召し上がってみてはいかがでしょうか。

望月 葉子